

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

題目(和文)	フェアトレード・タウン運動にみる「公正さ」と地域社会の関係 - イギリスと日本のフェアトレード・タウン運動を事例として -
Title(English)	
著者(和文)	谷内田 絢子
Author(English)	Ayako Yachida
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9906号, 授与年月日:2015年3月26日, 学位の種類:課程博士, 審査員:土肥 真人,樋口 洋一郎,大佛 俊泰,十代田 朗,坂野 達郎, 北島 健一
Citation(English)	Degree:., Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9906号, Conferred date:2015/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	要約
Type(English)	Outline

## 学位論文の概要

論文題目：フェアトレード・タウン運動にみる「公正さ」と地域社会の関係  
ーイギリスと日本のフェアトレード・タウン運動を事例としてー

フェアトレードは、途上国の生産者と先進国の消費者の対等な関係の下に行われる市場を介さない取引を指す。近年、これまで NGO などの市民団体を中心に発展してきた FT を先進国社会へ広めることを目的とするフェアトレード・タウン (FTT) 運動が行われている。FTT 運動とは、地域の行政、企業、市民が一体となって FT を推進する市民運動である。本研究は、現在欧州の地域社会を中心に広まりをみせる FTT 運動に着目し、運動の国際的発展を明らかにし、イギリスと日本の事例検証から社会における「公正さ」の広がりについて論じ、その効果と意義を考察することを目的としている。

まず初めに、既往文献より FT の歴史、理念、活動内容にみられる「公正さ」を抽出し、FT の扱う「公正さ」について検討した。FT の「公正さ」を【賃金・価格】【生産者の自立・発展】【地域開発】【環境】【人権擁護】【消費と生産の関係】【消費者の取組】【国際貿易等の諸課題】【文化】に分類し、FT は生産者・消費者に対し、経済・社会・環境的な「公正さ」を実現することを目的とする活動であることを明らかにした。

2001 年に開始された FTT 運動は、現在世界 24 ヶ国 1598 地域で展開されている。FTT 運動は、国際的には、国際運営委員会が認証基準や方針など運動の基本的枠組みを設定している。一方、各国の運営では、多様な認証方式と認証基準が採用されており、また各地域においては、推進団体を中心に、自治体、販売店、市民団体が活動を推進している。FTT 運動は地域の多様な主体に FT 活動に参加することを求めており、消費地域に FT 推進コミュニティを形成し、そのコミュニティは FT の「公正さ」を広める機能を有している。

FTT の地域事例検証では、2001 年に世界で初めて FTT 認証を取得した町であるイギリスのガースタング町、2005 年にフェアトレード・シティ (以下、FTC) に認証されたブリストル市、2008 年に認証を受けたロンドン市とその中の 6 地域、そして日本の熊本市を対象に、現地調査とヒアリング調査から、各地域の活動実態を明らかにし、その意義を示している。ガースタング町とブリストル市では、FT 商品の推進とともに、地域農業においても FT と同様の【賃金・価格】や【消費と生産の関係】に不公正が生じているとの認識が生じ、公正な地域農業の振興が図られている。また、過去の奴隷貿易と現代貿易における課題学習や、地域環境活動・持続可能な都市政策の策定など、FT の【人権擁護】【環境】の「公正さ」が地域活動へ新たな影響を及ぼしていることを明らかにした。

ロンドン市における FTC 運動調査では、まず、6 つのバラを対象とした現地ヒアリング調査を実施し、都市部における FTC 活動の実態を検討した。ロンドン市の FTC は、推進団体“Fairtrade London”が市全体の活動を統括しており、地域活動は各バラの FT 推進団体が実施するという 2 層構造を持つことを示した。各バラでは地域店舗・飲食店での FT 販売など【消費者の取組】が推進され、学校授業や講演会では FT の【生産者の自立・発展】【地

域開発】【国際貿易等の諸課題】に関して学ぶ消費者・環境教育が実施されていることを明らかにしている。また FT が人種や宗教を超えた地域の住民の繋がりを醸成しており、FT の【文化】の「公正さ」が、地域住民の対等な関係作りにも寄与することを明らかにした。

日本で唯一の FTC である熊本市を対象とした地域調査では、熊本市での活動の変遷と実態、および地域組織の活動に対する意識を明らかにした。日本では、FTT 認証基準に「地域活性化活動の実施」があり、熊本市の FTC 推進団体は、障害者支援団体との協働活動によりこの基準を達成していた。また、FT に参加する地域組織には、地域の有機農業、無農薬野菜を使用する団体もあり、FT の【環境】や【人権擁護】の「公正さ」が組織活動の理念と共通することが、FT 活動に参加する契機にもなりうることを明らかにした。

以上の各地域の事例より、FTT 運動は、当初 FT の普及を目的としていたが、地域課題に対する活動も行われるようになってきたこと、すなわち FT の国際的「公正さ」が地域に取り入れられることで、地域内の様々な公正さに影響を与えることを明らかにした。そして FTT 運動による生産者と消費者の直接交流は、文化や環境の異なる双方の地域課題を共有し共に学び合う公正な関係を構築することを指摘した。